

コンクリートポンプ車のメンテナンスについて

コンクリートポンプ車を末永くお使いいただくためには適切なメンテナンスが欠かせません。取扱説明書にも記載されていますが、始業点検・定期自主検査・特定自主検査の適切な運用をお願い致します。以下に近年特にメンテナンス上の配慮が行き届いていない事例が見られる内容をお知らせいたしますのでご参照願います。

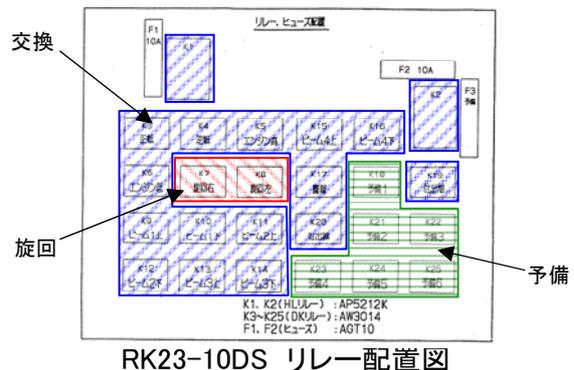
◎ ラジコンのリレーの交換

ラジコンのリレーは消耗部品です。寿命は使用頻度や車両の電圧状況などにより変動します。安全にお使い頂くためには全てのリレー（下図はRK23-10DSの例：青色・赤色）を4年毎に交換されることをお奨めいたします。なお、このリレー交換は失念し易いことが予想されます。特にインテグ操作を多用される巡回作動のリレー交換（下図赤色）は、特定自主検査などをきっかけに、より短い期間で定期的に交換頂くことにより、更に安心してお使い頂けます。（緑色は予備リレーです）下図はRK23-10DSの事例ですが、RK17-10DS, RK16-10DSに関しても同じ運用をお奨めいたします。リレー交換に際しては弊社サービスまでご相談ください。

なお、RK18-10DSに関してはリレー構造が大きく異なり、基盤ごとの交換を10年毎に実施いただくことをお奨めいたします。



受信機内部 (RK23-10DS)



RK23-10DS リレー配置図

2003年以降のRK23-10DSにおいて、ポンプのコントロールパネルが右図のタイプの車両は、リレー式から半導体式に変更しており交換不要です。



尚、ラジコン装置には、非常停止ボタンが装着されています。これは電源ボタン『切/非常』と兼ねています。（取扱説明書もご参照願います。）

RK23-10DS
型式表示



RK23-10DS (1998~)

『切/非常』ボタン

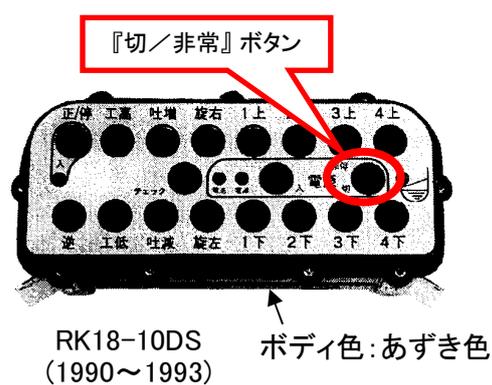
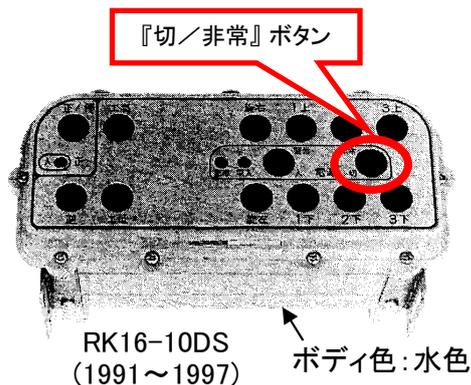


『切/非常』ボタン

RK17-10DS
型式表示



RK17-10DS (1992~1998)



ラジコン操作にて緊急停止の必要が生じた場合、以下の方法で作動を停止させることができます。

- a : ラジコンの非常停止ボタン『切/非常』を作動が停止するまで押す
- b : 車両のコントロールパネルのメインスイッチをOFFにする
- c : エンジンを停止する

◎ 作動油の交換

取扱説明書に使用油と交換時期の記載がありますのでこれに準じたメンテナンスをお願い致します。交換周期は以下の通りです。また併せてフィルターの交換・メンテナンスもお願いします。

	初回	初回以後
ピストン車	15000m ³	30000m ³ 毎
スクイズ車	0.5年	1年 毎

◎ ミッションオイルの交換

シャシのミッションオイルです。特に小型のサイドPTO装着車両においては、作業状況にもよりますが厳しい使用環境になります。これは貨物車両におけるシビアコンディションと言われる領域であり、一般的に1ヶ月毎のオイル交換周期を推奨されています。各シャシメーカーの保守内容に沿って対応願います。

◎ プロペラシャフト・ドライブシャフトの給脂

シャシのプロペラシャフトと油圧ポンプを駆動するドライブシャフトのジョイントキット、及びスプラインシャフトへの給脂です。これが劣化・固着するとスムーズな動力伝達が滞り、PTOや油圧ポンプなどまで損傷が及ぶ可能性が有ります。給脂に関してはドライブシャフトは取扱い説明書に、プロペラシャフトはシャシの保守内容に準じて頂きたいのですが、指標として、いずれも1週間毎にメンテナンス頂くことにより、安心してお使い頂けます。

